

年長組で「お別れ遠足」を「ツインリンクもてぎ」で！～巨大なネットをよじ登ったり、森の中を散策したりと、楽しい一日を！～ <2/26>

2月26日(金)、年長さんの「お別れ遠足」を実施しました。今年度はコロナ禍ということもあり、屋外での活動も楽しめる「ツインリンクもてぎ」で実施することにしました。子ども達が自然の中で先生や友達と一緒にのびのびと遊ぶことを通して、楽しい思い出を作ることを目的としました。

朝8時20頃には家の人に連れられて、全員が真岡市営駐車場に集合しました。担任の先生が人員を確認し、8時30分に「子どもたちの笑顔に乗せ、元気いっぱい」幼稚園バスに乗り出発しました。決められた座席に座り、「朝のあいさつ」をした後、「今日一日の流れの確認やお約束ごと」などについて先生からお話がありました。また、「目的地に何時に着くかという時間当て」など、楽しいクイズなどをして過ごしました。



道路も空いていたため、予定時刻より早い9時10分に目的地に着くことができました。バスを降りて、お友達と手をつなぎ二列になって「中央エントランス」に向かいました。トイレを済ませた後、クラスごとに「集合写真」を撮りました。次の活動までには時間があつたので、ロードコースを見学しました。大きな円形のロードコースでは、3台のレーシングカーがすごいスピードで走っていました。テレビでしか見たことのないような車の爆音に、子ども達は少し驚いた様子でした。



10時からは、巨大ネットの森「SUMIKA」での活動です。最大の高さが11mもある巨大ネットが2基あるアスレチックで、屋内では日本最大の大きさだそうです。薄暗い空間から、鳥や動物たちの鳴き声も聞こえ、まさに「動物たちの隠れ家」という感じです。係の人の説明（注意等）を聞いた後、2つのグループに分かれて「自由遊び」をしました。巨大なネットによじ登ったり、追いかっこをしたりしている子。2つのトランポリンでジャンプを繰り返したり、ハンモックネットをブランコのように揺らしたりして遊ぶ子。「キャー、やめて！」「先生、つかまなくて！」などという声が、あちらこちらから聞こえます。本当に楽しそうです。中には、10mを超えるネットの頂上付近まで登っていく子も。あつという間の40分間でした。



11時からは、「キャストウォーク」をクラスごとに行いました。**(4段目からはその様子を写した写真です。)**

キャストとは、人と森をつなぐ「語り部」のことで、子ども達を安全に森の中を案内してくれます。そして、山の中の木々や動物たちについていろいろと教えてくれます。**(生き生きと活動していますね！)**



印象に残っているのは、イノシシが通る道などを利用して作った「迷路」を先生と子ども達で歩いた所です。行き止まりなどもあり、すごく盛り上がりました。イノシシの赤ちゃんの大きさなど興味深いお話を聞くこともできました。また、落ち葉が集めてある「落ち葉のプール」では、子ども達が落ち葉を先生やキャストにかけて喜んでいました。貴重な体験としては、カブト虫の幼虫を探していたのですが見つからず、まどか先生が「エイ！」と木を割ったら、中からクワガタの幼虫が見つかったことです。クワガタの幼虫はなかなか見つけることができないのだそうです。さすが、まどか先生ですね。最後は、吊り橋を渡る経験をして終了しました。



キャストウォークの後は、昼食場所の中央エントランス広場へ。待ちに待った「お弁当」の時間です。芝生の上でクラスごとに輪になって食べました。朝から気になっていた、愛情がたっぷり詰まった「お弁当」。久しぶりに屋外で食べるお弁当の味は格別なのでしょうか、おいしそうに食べていました。



昼食後は、「でこぼこ広場」で10分程度遊びました。そして、トイレを済ました後バスで「HONNDAコレクションホール」へ向かいました。ホンダの自動車やオートバイが展示してある博物館で、会社の歴史を知ることができます。特に3階にはF1で使われた実車がずらりと展示されていて、見る者を圧倒します。子ども達よりも目を輝かせて見ていたのは、「車好きのバスの運転手さん達」でした。見学をした後、クラスごとに記念写真を撮りました。楽しく活動している様子が写真からうかがえます。ただ見学するより、子ども達は自分で体験したり遊んだりの方が楽しいようです。特に「キャストウォーク」では、新しい発見もあり充実した時間が過ごせました。雨も降らず、担任も含め子ども達の日ごろの素晴らしい行動の成果だと感じました。愛情たっぷりの弁当も美味しかったです。